

## 海上防災

千葉港及び木更津港には、多数の石油コンビナートが存在することから、油の大量流出や有害・液体物質の海上漏洩、臨海施設の火災等、大規模な災害発生が懸念されます。

これら海上災害に的確に対応するため、千葉海上保安部では、関係行政機関や民間企業と合同で、防災訓練を実施し、災害発生時の対応能力向上を図っています。

また、平成9年7月、東京湾で発生した「ダイヤモンドグレース号」の座礁・油流出事故を踏まえ、各自治体、関係行政機関及び民間企業等との間で、千葉（船橋を含む）・木更津・館山の各管内に、「排出油等防除協議会」を設立し、定期的な訓練及び研修会を実施することで、災害対応にかかる連携強化を図っています。



(大規模災害を想定した机上訓練)



(巡視艇による油防除訓練の様子)



(東日本大震災における臨海部施設の消火活動)